

事業所における自己評価結果（公表）

別紙 3

公表：令和 4年 3月 1日

事業所名 玉野市児童発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	6	・時間帯によっては、一つの部屋に子どもが集まることがあるが、スケジュールを調整し、一人ひとりの空間を確保することができている。	・制度上は問題ないが、ロッカーやパーテーションなどの空間設定により、狭さを感じる。 ・時間帯によっては、プレイエリアの中の子どもの人数が多く、狭く感じることがあるため、デイリーの組み方に注意する。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	7	・勤務表を見て、配置人数が少ない日は、可能であれば職員の休みを移動してもらっている。	・常勤の数がもう少し必要だと思うが、パート職員の療育への参加の仕方についても検討を行う必要がある。 ・基準は満たしていても、日によってばらつきがあるため、職員の意識で人数確保できるようにしていきたい。 ・利用定員の検討
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	7	・TEACCHの考えを基に環境を整えている。 ・取り組むべきことに集中できるよう、パーテーション等で刺激の統制を図っている。	・子どもの発達の様子に合わせた空間作りをアセスメントを基に考えていくことが必要。 ・それぞれ構造化について考え、環境を作っているが、子どもの様子に合わせて、その都度検討していく。 ・子どもの成長や課題とともに構造化やスケジュールは変更する。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	6	・幼児トイレなどは掃除の手順など細かくマニュアルがあり分かりやすい。 ・コロナチェックシートを用いて、毎日玩具や手すりなどに触れる場所を消毒している。	・活動の設定を行う際には、危険予測を行いクッションマット等で安全対策を行う。 ・センター全体を見たときに掃除が行き届いていないように感じるため、消毒等を含めたマニュアルを作る。 ・運動などの活動と給食を食べる時間が重ならないように各クラスの活動時間を調整する。 ・場所と活動内容が子どもに分かりやすくなるように配慮する。 ・日頃から環境整備に職員一人一人が配慮していく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、店長職員が参画しているか	7	6		・具体的な目標を職員会議で話し合い、業務の改善に取り組んでいきたい。
	⑥	保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に向けた保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	12	1	・保護者の意見を真摯に受け止め、改善策を考えている。	ガイドラインアンケートの集計結果を全職員が目を通せるように、ホームページを見るように周知したり、結果の冊子を回覧したりする。
	⑦	保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	12	1	・改善の内容を公開していたとしても、そのことを職員や保護者に対して周知できているとは思えない。	ホームページに掲載している。ネット環境がない保護者・職員のために公開から一か月間ファイルに集計結果を入れて玄関に置き、自由に手に取って閲覧できるようにしている。
	⑧		8	5	県民局からの行政監査、実地指導を受け、業務改善と適正化に努めている。	指導があった部分については、改善に努めている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	2	・研修が定期的に行っている。 ・運動面では、OTを月に4回、療育面では、コンサルテーションを月に2回、自主勉強会を月に3～4回行っている。 ・パート職員も研修や勉強会に参加できるようにしている。	・研修やコンサルの内容について、今の職員に適切であるかの検討。
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	11	2	・目標要望書はプラン更新の前に必ず保護者に見直してもらっている。 ・クラス職員や児童発達支援管理責任者とよく話し合って作成している。	・アセスメントに個人差が出ているため、みんなで検討する。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11	2	・アセスメントシートを使いながらスキルチェックを行っている。 ・太田ステージで認知発達のチェックを行っている。 ・遠城寺式発達検査で発達のチェックを行っている。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	4	・支援計画内に領域を設け、具体的な支援方法が作成できるように努めている。 ・職員間で実際の支援に誤差が生まれないように具体的な支援内容を考えてアセスメントシートに記載し、取り組みの設定をしている。	・児童発達支援ガイドラインをカンファレンスの際に活用することを徹底する。
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	3	・行動観察記録に支援計画を記載している。		

支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	5	・日々の振り返りを行い、子どもの様子から手立て等を考えられている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	2	・行動観察表を見ながら活動が偏らないように支援を組み立てている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成して見直し開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	0	個々の発達に合わせて、小集団活動と個別活動を入れた支援計画を作成している。	
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12	1	・朝礼後に各クラスで職員ミーティングを行っている。	パート職員の出勤時間が9時であるため、開所前に打ち合わせが難しいが、流れを9時半までには伝えられるようにしている。
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	4	・できない日もあるが、療育終了後にクラス職員で振り返りを行っている。	・振り返りの内容についての検討が必要。 ・療育終了後の業務の優先順位をつけて、振り返りの時間の確保をしていきたい。 ・参加していない職員にも周知できるよう方法を考えたい。
	19	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	12	1	・カンファレンスを実施し、見直しを行うように努めている。 ・相談支援専門員と連携を行っている。	
	20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	12	1	・カンファレンスを実施し、見直しを行うように努めている。 ・相談支援専門員と連携を行っている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	3	・サービス担当者会議にて管理者、自発管、担任が出席し、子どもの姿や保護者とのやり取りを伝えることができている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	11	2	・保健師や地域の幼保、学校等と必要に応じて話している。 ・入所前や移行前に保健師や保育園、幼稚園と連絡を取っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	7	・PT,OTとの勉強会を年に3回おこなっている。また、毎週OTに運動面を見てもらっている。	引き続き医療関係機関との勉強会を行い、連携を取りながら支援をしていきたい。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	8	・嘱託医が毎月往診に来てくださっている。 ・家族を通じた間接的な連絡を行っている。	保護者の同意が得られれば、受診している医療機関との情報交換をしていきたい。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13	0	・引継ぎを必ず行っている。 ・学校見学やセンターの見学をしていただくことで情報交換はしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13	0	・引継ぎを必ず行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	6	・定期的にコンサルテーションを受けている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	7	・コロナ禍のため減少したが、体制はある。	・コロナの感染状況が落ち着いたら行っていきたい。
	29	(自立支援) 協議会や地区協議会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	7	・園長が、子ども部会に毎回参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	2	・動画を撮って見せたり、家での様子を聞いたりしている。 ・バス利用の方は連絡帳で伝えている。	バスを利用されることが多い利用者の保護者とは、来所できる日時を調節し、直接話をする機会を定期的に持つていくようにしていく。

	91	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回ペアレントトレーニングを行っている。 ・相談があれば、その都度話を聞いて支援方法やかかわり方について助言している。 ・サービス担当者会議にて情報共有及び保護者支援について話をしている。 ・毎日の療育説明で子どものことについて共通理解を図っている。 	ペアレントトレーニングに関しては、もう少し頻度を増やして行うことができるように計画を立てていきたい。
	92	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会の際や変更等があった場合には必ず説明を行っている。 	
	93	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談日を設定し、個別支援計画の内容を一つひとつ説明し、同意を得るようにしている。 	
	94	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	3	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員で支援を考え保護者に伝えている。 ・懇談を定期的に行っている。又、必要に応じて懇談をする場を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が助言や支援を行えるように専門的分野についての学びの機会を作っていく。
	95	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会やおやじの会を行っている。 ・おやじの会の実施で、父親同士の交流の仲介を担っている。 	
	96	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・園長を中心に対応を行っている。 ・相談や申し入れがあった時には、職員や上司と共有し、その事柄について改善や検討を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスの関係で、プラン懇談時間を短縮していたため、じっくり話が聞けていないことがあった。相談があった際には、別日を設定して話ができる日を作っていく。
	97	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月園だより、季節ごとにつづこだよりを発行している。 ・毎月園だよりを作成し、行事予定や連絡事項、療育エピソードを伝えている。 	
	98	個人情報の取扱いに十分注意しているか	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵付きの書庫に入れている。 	
	99	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	3	<ul style="list-style-type: none"> ・PECSを取り入れ、表出コミュニケーションの支援をしている。 ・TEACCHの考え方を取り入れ、受容コミュニケーション、社会性、想像力・細部注目に係る支援をしている。 ・保護者に応じて具体的にわかりやすく理解してもらえる伝え方を考えて対応している。 	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの方がコンサートなどには来てくれるが、近隣住民との関わりは特にならない。 ・ボランティアの受け入れを行っている。 ・食育教室、読み語り、コンサート 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染が落ち着いた際には、食育教室や玉野レクレーションのスポーツ教室など地域の方と触れ合うことができる機会を持っていきたい。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者対応や手洗い研修を行っている。 	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月地震、火災、台風などを想定した訓練を行っている。 	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬があるお子さんには、クラスの職員が共有できるよう、ホワイトボードに子どもの名前と薬の種類となませる時間を記入し、薬を飲ませた職員がホワイトボードを消したり、連絡帳に記入をしたりして飲み忘れがないようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前の利用者ファイルで確認をしている。利用途中で状況が変わった場合には、その都度保護者に確認をしている。

非常時等の対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	13	0	・今年是在籍しないが、アレルギー対応が必要な時には行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12	1	朝礼で職員全体に共有している。	今後も気付きを職員で共有していきたい
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	2	今年度は、岡山県の虐待防止研修（オンライン）を受けている。	・虐待に対する意識を持てるように今後も研修を受けていく。来年度から委員会の設置をする。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	12	1	・身体拘束シートを必要なお子さんには書いて伝えている。 ・入園前に説明をし、同意書をいただいている。また、個別支援計画に記載をし、プラン懇談ごとに了承を得ている。 ・職員間でどのような行為が身体拘束に当たるのか周知している。	・身体拘束適正委員会を設置する。